

浜松駅北口駅前広場の問題点

北1 通路機能のための賑わいが少ない。また、バリアフリー対応が図られておらず、周辺施設と接続していないため利便性が低い。



北4 商業・業務を主とした再開発を目指す区域であるが、駅前広場との連続性が低い。



北5 樹木が大きく繁茂しており、駅前広場⇄市街地の視覚的な連続性を阻害している。



北2 駅⇄鍛冶町方面を結ぶ主要な歩行者動線であるが、現階段では歩行者と自転車、送迎レーン利用者の滞留が混雑し動線が輻輳している。



北6 バスターミナルと駅及び周辺市街地は、地下通路により最短距離で連絡しているが、連絡には必ず上下移動を伴う。



北3 送迎レーンのピーク時には、送迎車両の滞留により非常に混雑している。アンケートにおいても多数の意見がある。



北7 送迎車、来店・退店車両、大型バス（観光バス、大学スクールバス等）、タクシー等数多くの自動車が行き交うため混雑している。また、全交通が南口を通過するため、南口側の混雑にも影響を与えている。



北8 地下広場は、人が熱い、にぎわいのある空間になっていない等、位置付けが不明確となっている。アンケートにおいても多数の意見がある。



北9 上部空間は増築などを行ったことにより、施設の配置バランスや外観の統一性が不明確となっている。



北10 バス駐機スペースにより、駅前広場⇄市街地の視覚的な連続性を阻害している。また、車高が高いバスの場合、乗降場の屋根が低いいため、乗降場に接近出来ない。



北11 公共通路としてのバリアフリーを確保していない。隣接するホテル内エスカレーターを利用しなければならない。



北12 駅前広場とアクロシティを連絡するデッキ動線において、バリアフリー化が図られていない。



浜松駅南口駅前広場の問題点

南1 送迎車、来店・退店車両、大型バス（観光バス、大学スクールバス等）、タクシー等数多くの自動車が行き交うため混雑しており、路肩での送迎乗降も行われ、雑然としている。また、全交通が南口を通過するため、南口側の混雑にも影響を与えている。商業施設への集中により混雑の可能性がある。



南2 砂山菅原線からの送迎車で送迎レーンが混雑している。送迎レーンの混雑が砂山菅原線の混雑を増幅している。アンケートにおいても多数の意見がある。



南3 砂山菅原線の南進の混雑が著しい。そして送迎レーンに向かう北進が混雑を増幅している。



南4 路肩での送迎が多く、砂山17号線の混雑を招いている。



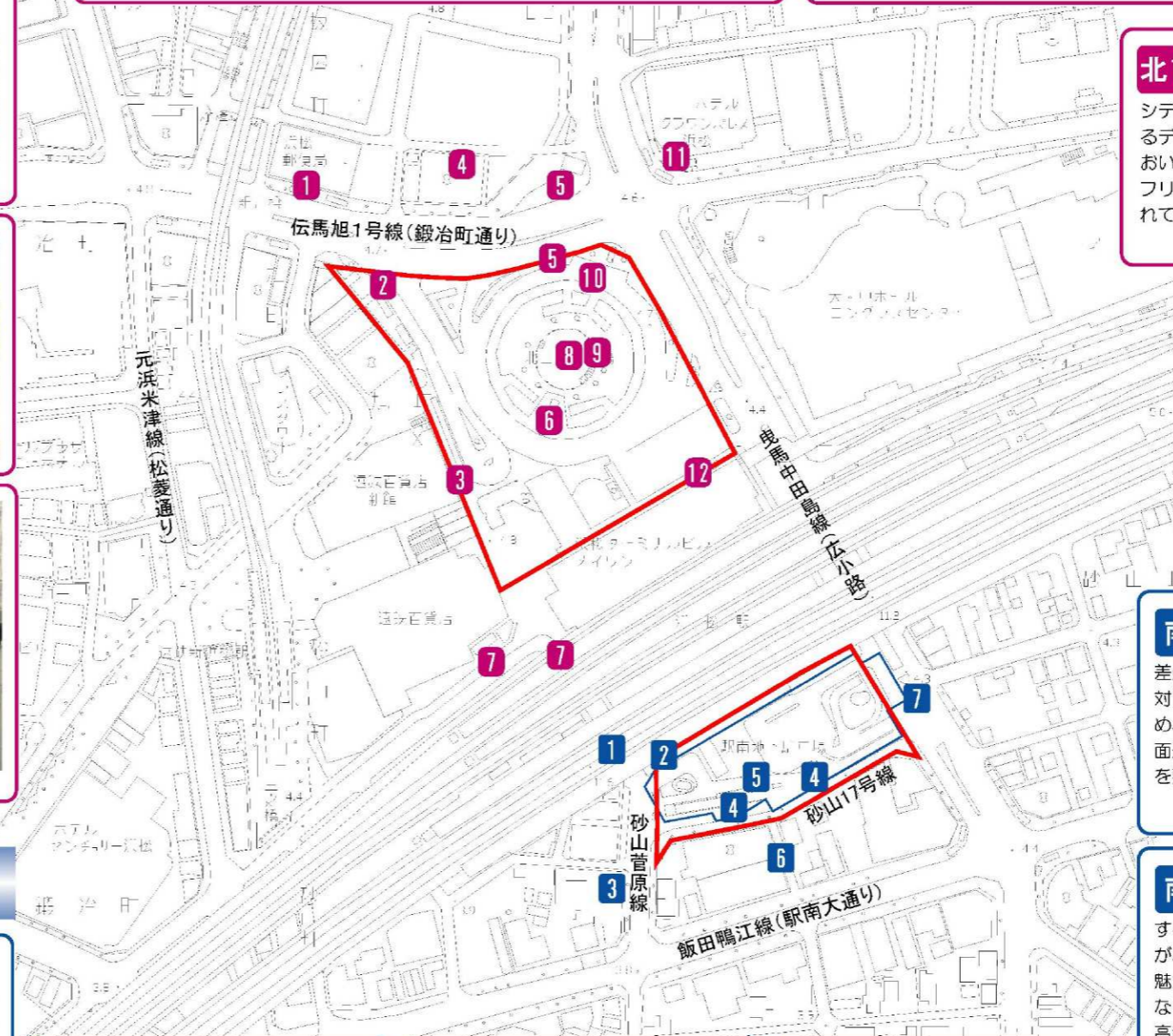
南5 砂山17号線上の送迎レーンは、ゼブラや横断歩道付近まで自動車がおも、混雑している。



南7 東西方向の交差点流入部が正対していないため、自動車の対面通行時に注意を要している。



南6 駅正面に位置する道路であるが、幅員が狭く魅力的な空間になっていない。高竜地区方面への駅前広場との連続性が低い。



凡例

- 駅前広場 都市計画区域
- 浜松駅南 地下駐車場

基本構想